

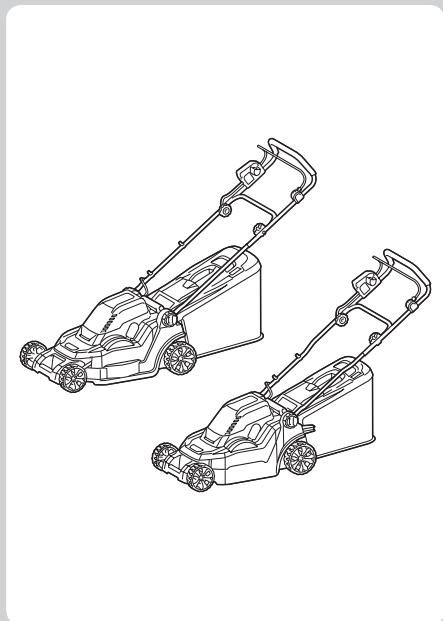
Makita

取扱説明書

充電式芝刈機

モデル MLM382D

モデル MLM432D



このたびは**充電式芝刈機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。






もくじ

安全上のご注意	2
充電式芝刈機安全上のご注意	13
各部の名称および標準付属品	17
梱包部品	18
別販売品のご紹介	19
バッテリーについて	20
保護機能	22
・本製品およびバッテリーの保護機能	
充電器について	23
ご使用前の準備	31
・カバーの組み付け方	
・ハンドルの組み立て方	
・集草カゴの取り付け方	
・マルチングプラグ（別販売品）の取り付け方	
・マルチングプラグ（別販売品）の取りはずし方	
・バッテリーとキーの取り付け・取りはずし方	
使い方	39
・刈り込み高さの調整	
・スイッチの操作	
・各種機能	
・マルチングプラグの使い方（別販売品）	
・刈り込み方法	
・長い芝の刈り方	
・芝の捨て方	
・運搬について	
・保管方法	
・保管例	
保守・点検について	47
・芝刈刃の取りはずし方	
・芝刈刃の取り付け方	
・困ったときは	
・本製品のお手入れ	
・ご修理の際は	
主要機能	51
充電式芝刈機 保証書	56

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 **警告**

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意**

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **注**

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

作業環境

- 1** 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2** 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- 3** 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

- 1** 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- 2** 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
- 3** 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 4** 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。

⚠ 警告

- 5 使用環境に適した延長コードを使用してください。
- 6 USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

作業者に関する安全事項

- 1 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいたり、妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
- 2 安全保護具を使用してください。
 - ・作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
- 3 不意な始動は避けてください。
 - ・バッテリーを本機に挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 4 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

⚠ 警告

- 5 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- 6 きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

- 1 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
- 2 スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
- 3 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
 - ・本機の調整
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・保管、または修理
 - ・電動工具から離れるとき
 - ・本機の受け渡し
 - ・その他危険が予想される作業

⚠ 警告

- 4** 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。

- 5** 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

- 6** 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

- 7** 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

- 8** 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

- 9** 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

- 1** バッテリーを挿し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・スイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを挿し込むと事故につながります。
- 2** バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 3** マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
- 4** バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
- 5** 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
- 6** バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 7** バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

- 8 バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 9 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 10 バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 11 バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 12 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 13 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
- 14 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 15 バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています（右図の○部分）。



警告

- 16** 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。
- ・ 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。
- 17** バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
- ・ 性能が低下したり、故障の原因になります。

整備

- 1** 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。



警告

その他の安全事項

- 1** 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - ・本機やバッテリーが異常に熱い。
 - ・本機やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
- 2** 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- 3** 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
- 4** ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

- 5 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
- 6 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- 7 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- 8 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- 9 正しく充電してください。
 - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ラベルに「**発電機**」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
- 10 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・感電の恐れがあります。

⚠ 警告

11 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

12 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

- 先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式芝刈機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 1** 芝刈機を雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
 - 感電や本機およびバッテリーが故障する恐れがあります。
- 2** 必ず長ズボン、運動靴などを着用してください。
 - 刃物に小石などが当たって飛散し、けがの恐れがあります。
- 3** 小さい子供やペットのいるそばで使わないでください。また小さい子供には絶対に使わせないでください。
 - 事故の原因になります。
- 4** 芝刈機を使用する前に、作業場所内にある小石、棒切れなどの障害物を除去してください。
 - 小石などが刃物に当たるとけがの恐れがあります。
- 5** 刃物が回転している間は、刃物や切り屑の排出口には手足や顔などを近づけないでください。
 - けがの恐れがあります。
- 6** スイッチを切っても刃物はすぐ止まりません。本機の持ち運び、刃物の点検やお手入れは、必ず刃物が止まっていることを確認し、本機からバッテリーを抜いてください。
 - けがの恐れがあります。
- 7** 集草ボックス(集草カゴ)をはずしたままでは使用しないでください。
 - けがの恐れがあります。
- 8** 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 9** 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 警告

- 10** 刃物にひび・欠けなどの異常があったときには、新しい刃物と交換してください。
 - ・切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。
- 11** 使用中は、本機を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。
- 12** 芝刈作業以外（除草など）には使用しないでください。
 - ・本機に負荷が加わり、事故やけが、故障の恐れがあります。
- 13** 刈り込みは走って行わないでください。
 - ・転倒などの恐れがあります。
- 14** 斜面の刈り込みは、斜面に対して横切るように行ってください。
 - ・斜面に沿って刈り込みをすると、転倒などの恐れがあります。
- 15** 斜面で本機の方向転換をするときは、細心の注意を払ってください。
 - ・転倒などの恐れがあります。
- 16** 急な斜面での刈り込みは行わないでください。
 - ・転倒などの恐れがあります。
- 17** 本機を手前に引くときは、細心の注意を払ってください。
 - ・足を挟んで、転倒の恐れがあります。
- 18** 芝以外の地面を横切って移動する場合はスイッチを切って刃物の回転を止めてください。
 - ・けがの恐れがあります。
- 19** スイッチを入れるときは、手足を刃物から十分に離してください。
 - ・けがの恐れがあります。
- 20** スイッチを入れるときは、本機を傾けないでください。
 - ・けがの恐れがあります。

⚠ 警告

- 21** リヤガードが損傷して刃物が見えるような状態で使用しないでください。
 - ・ けがの恐れがあります。
- 22** 集草ボックス（集草カゴ）に摩耗や劣化がないか、使用前に点検してください。
 - ・ 芝と一緒に小石などが勢いよく集草ボックス（集草カゴ）に入るため、損傷しているとけがの恐れがあります。
- 23** ロックオフボタンやスイッチレバーなどの操作に関するボタンは押し込んだり、引き込んだりした状態で固定しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
- 24** 本製品に付属している刃物は、本製品専用です。他の製品に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 事故や故障の原因になります。
- 25** 刃物を扱うときは、必ず手袋を着用してください。
 - ・ けがの原因になります。
- 26** 通気孔を刈った草のくずなどでふさがないようにしてください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 27** 子供や取り扱いに詳しくない人に本機を使用させないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
- 28** 操作者や使用者には他の人や財産に発生する事故および危険性に対する責任が生じます。
- 29** 裸足や足がむき出しになるサンダルなどをはいた状態で使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
- 30** 芝刈りは日中や照明のある十分明るい場所で行ってください。
 - ・ 暗い場所で行うと事故やけがの原因になります。

充電式芝刈機安全上のご注意

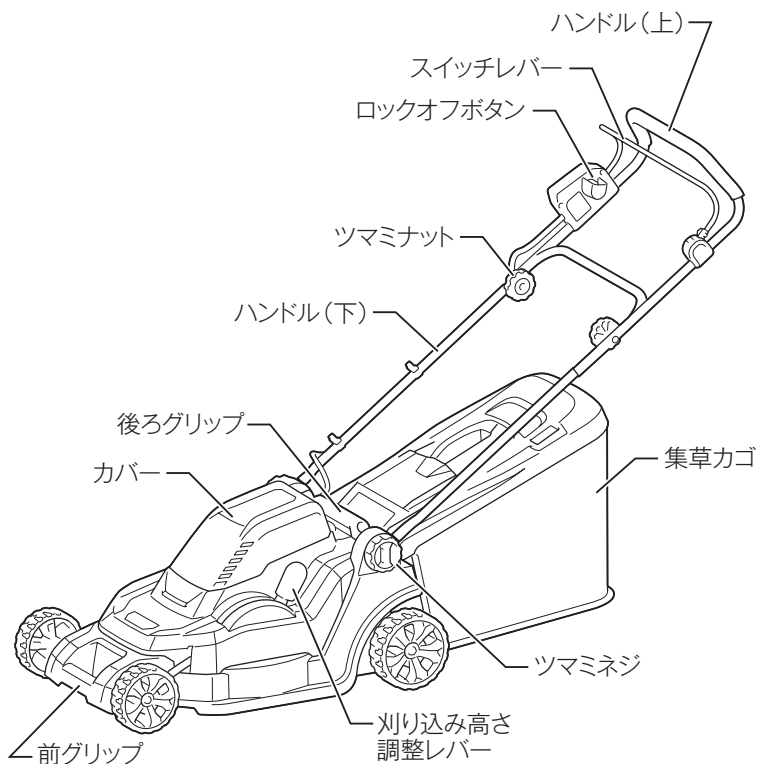
⚠ 警告

- 31** 本機が作動している間は、本機をもち上げたり運んだりしないでください。
- ・ けがや事故の原因になります。

⚠ 注意

- 1** 刃物は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- ・ 確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- 2** 使用しない場合は、必ず屋内に保管し、保管場所として次のような場所を避けてください。
- ・ 子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - ・ 温度や湿度の急変する所
 - ・ 湿気の多い所
 - ・ 直射日光の当たる所
 - ・ 揮発性物質の置いてある所
 - ・ 事故の恐れがあります。
- 3** 油および殺虫剤などの薬品が本機に付いたままにしないでください。
- ・ 変色・変形・割れなど、本機が損傷する恐れがあります。
- 4** 取り付けネジの点検
本機を正しく、安全にお使いいただくためにも、使用前に点検して、ゆるんでいたら締め直してください。

各部の名称および標準付属品

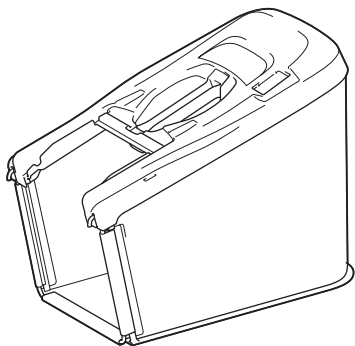


■ 標準付属品

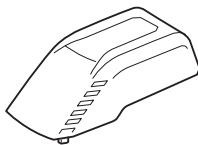
モデル	MLM382DZ	MLM432DZ	MLM382DPG2	MLM432DPG2
標準付属品				
バッテリー		×	○ バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah) (2 個)	
充電器 (充電時間)		×	○ DC18RD (約 55 分)	
メガネレンチ	○	×	○	×
ボックスレンチ	×	○	×	○
バッテリーカバー		×	○ (2 個)	

梱包部品

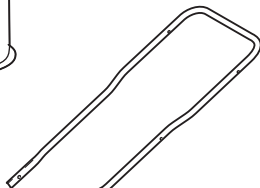
・集草カゴ 1個



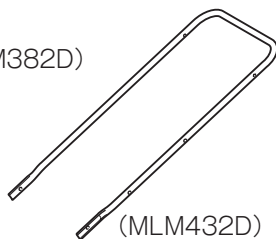
・カバー 1個



・ハンドル (下) 1本

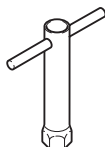


(MLM382D)

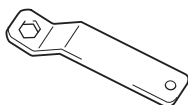


(MLM432D)

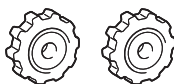
・ボックスレンチ 1個
(MLM432D)



・メガネレンチ 1個
(MLM382D)



・ツマミナット 2個



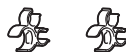
・ツマミネジ 2個



・ボルト 2本

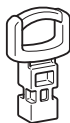


・ホルダ 2個



・キー 1本

キーを本製品からはずしておく、本製品が作動しないようにすることができます。作業時はキーを本製品に取り付けた状態にしてください。



別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 芝刈刃（430 mm 用）
部品番号：A-70100
- ・ 芝刈刃（380 mm 用）
部品番号：A-70091
- ・ マルチングプラグ
部品番号：A-70116
- ・ バッテリー BL1815N（容量 1.5 Ah）
部品番号：A-60311
- ・ バッテリー BL1820B（容量 2.0 Ah）
部品番号：A-61715
- ・ バッテリー BL1830B（容量 3.0 Ah）
部品番号：A-60442
- ・ バッテリー BL1850B（容量 5.0 Ah）
部品番号：A-59900
- ・ バッテリー BL1860B（容量 6.0 Ah）
部品番号：A-60464

バッテリーについて

■ バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください）。ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

■ バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

■ バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



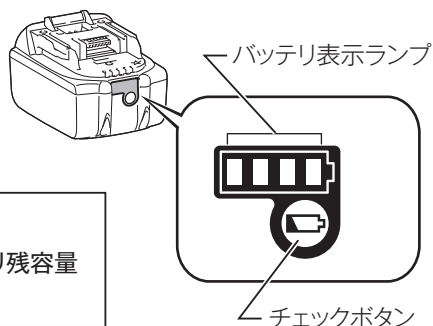
リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリーについて

■ バッテリー残容量表示機能

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 ▨:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ■ ■ ↓ ↑	バッテリーの異常 です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

保護機能

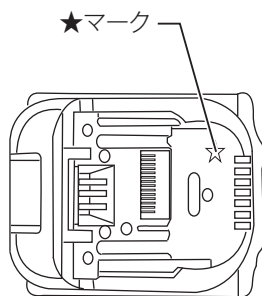
本製品およびバッテリーの保護機能

- ・ 本製品を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能
<ul style="list-style-type: none">・ 本製品およびバッテリーの温度が高温になるとモーターが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。・ バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
<ul style="list-style-type: none">・ 本製品が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ いったんスイッチを切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

★マークについて

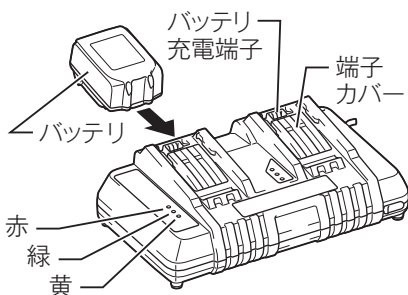
図のようにバッテリーに★マークがあるバッテリーは保護機能を搭載しています。



充電器について

■ バッテリーの充電方法

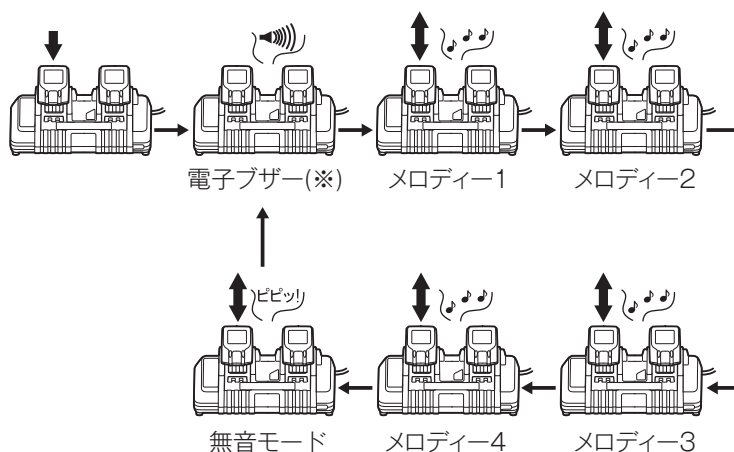
- 1.** 2口急速充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
 - ・ 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
- 2.** バッテリーを2口急速充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
 - ・ 充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
- 3.** バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
 - ・ 充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。
 - ・ そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却します。
 - ・ 充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
- 4.** 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約30分です。
- 5.** バッテリーを抜き取り、電源コンセントから2口急速充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

■ 充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーの確認音が短時間流れます。
2. このとき、素早くバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が流れましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。
「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは急速充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。










(※) 出荷時は電子ブザーに設定されています。












充電器について

■ 充電表示ライトについて

- ・ 充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
(通常充電のライト表示および表示内容)

ライト表示  点滅  点灯	表示内容
	充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
	冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
	充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0～80%を示します。
	充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80～100%を示します。
	充電完了「緑 1 個」点灯 電子ブザー またはメロディー

充電器について

ライト表示  点滅  点灯	表示内容
(オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)	
  	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
(異常時のライト表示および表示内容)	
  	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
  	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

充電器について

注

- DC18RD はマキタバッテリー専用の 2 口急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。
このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミつまりで充電できません。
- バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、3 時間以上たっても充電が完了しない。
(表示ライトが「緑」に変わらない。)
- バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器について

■ 冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することができます。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

■ オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1 ~ 4 の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなる場合があります。
 - 1 高温充電の繰り返し
 - 2 低温充電の繰り返し
 - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
 - 4 過放電の繰り返し
(過放電とは工具の力が弱くなくてもさらに使用する状態です。)

充電器について

■ USB 電源端子の使い方

⚠ 警告

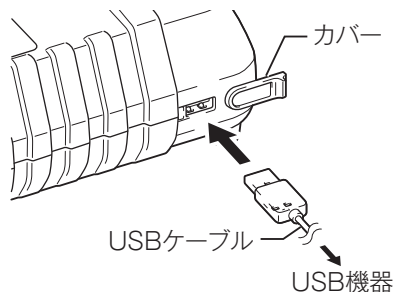
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。

- ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。
- ・ 2口急速充電器は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- ・ USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- ・ 1.5 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、2口急速充電器に接続しないでください。USB 電源端子の最大出力電流は、1.5 A です。
- ・ 2口急速充電器との接続には、USB 機器付属の USB ケーブルをご使用ください。
- ・ 使用後は2口急速充電器正面のカバーを戻してください。カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障につながります。
- ・ USB 電源端子に釘や針金が入らないよう注意してください。釘などが入ると充電器の故障につながります。

1. 本体正面のカバーをはずして、USB ケーブルで USB 機器と2口急速充電器を接続してください。
2. 2口急速充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
4. 電源コンセントから2口急速充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

■ 充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

ご使用前の準備

カバーの組み付け方

⚠ 警告

カバーを取り付ける前に、バッテリーおよびキーを差し込まないでください。

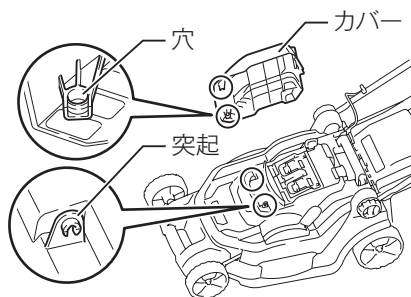
- ・ 本製品にバッテリーおよびキーを差し込んだ状態で組み付け作業を行うと、本製品が作動する恐れがあり、けがの原因になります。

⚠ 注意

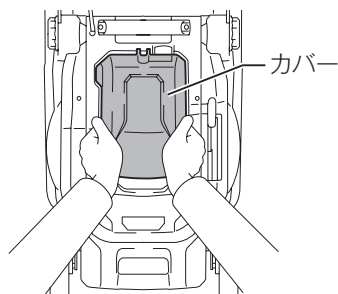
カバーを必ず組み付けて使用してください。

- ・ ほこりや水などが入り、本製品およびバッテリーが故障する恐れがあります。

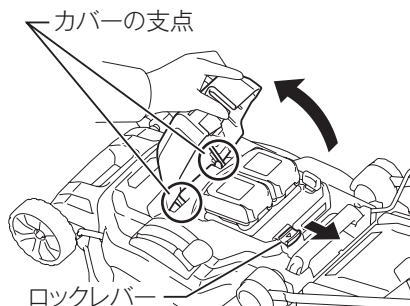
1. 本製品の支点部の突起と、カバーの支点部の穴を合わせて、本製品にカバーをのせます。



2. 図のように、カバーの中央付近を、両手で押し込んで組み付けます。



3. ロックレバーを引き、カバーを持ち上げて、カバーの支点が本製品に組み付いていることを確認してください。



ご使用前の準備

ハンドルの組み立て方

⚠ 警告

組み立てる際はバッテリーまたはキーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

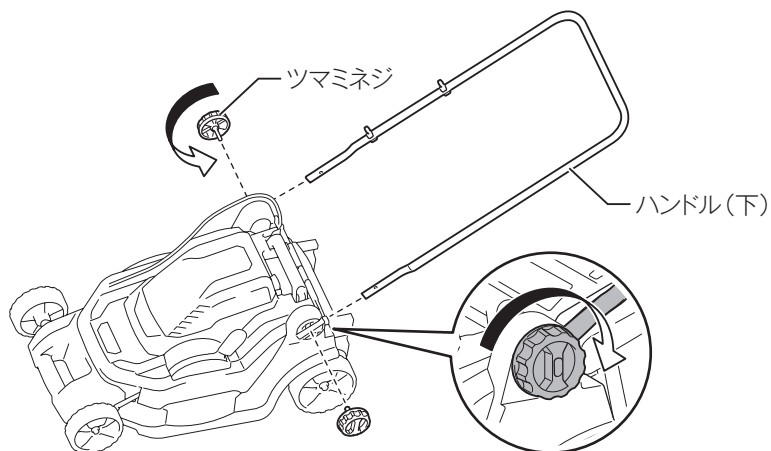
⚠ 注意

組み立てる際は、本製品とスイッチをつないでいるコードをかみこんだりしないように注意してください。

ツマミネジ、ツマミナットは左右とも確実に締めてください。

- ・ しっかり締めないと操作中にゆるんで事故の原因になります。

1. ハンドル(下)を広げながらデッキの凹部(左右2か所)にはめ込みます。
2. ツマミネジ(左右2か所)をしっかりと締め付けてハンドル(下)を固定します。

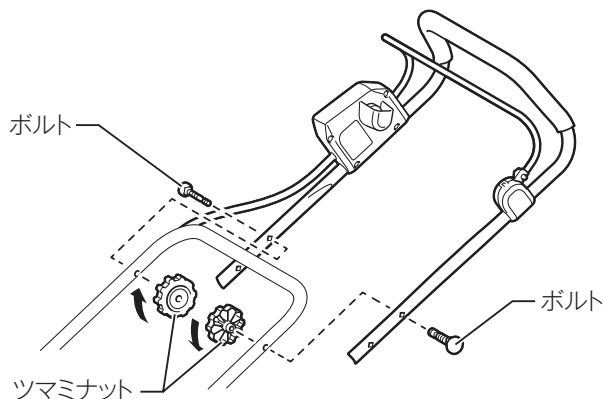


注

・ 本製品からのコードはハンドル(下)の上側を通してください。

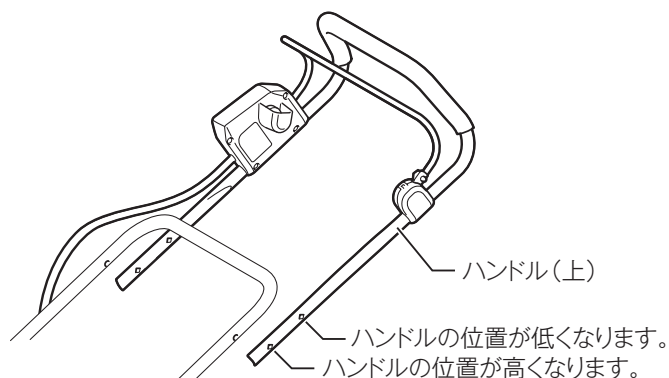
ご使用前の準備

- 3.** ハンドル（下）とハンドル（上）の取り付け穴を合わせて、付属のボルトとツマミナットでしっかり締め付けて固定します。
このとき、ハンドル（上）を落とさないようしっかりと保持して作業を行ってください。



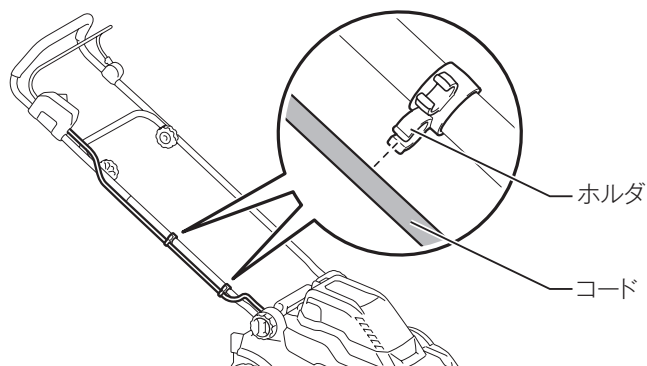
注

- ボルトはハンドル（上）の四角穴に合わせて取り付けてください。
- ハンドル（上）には位置の異なる、2か所の取り付け穴があります。取り付け穴を変えることでハンドルの高さを調整することができます。



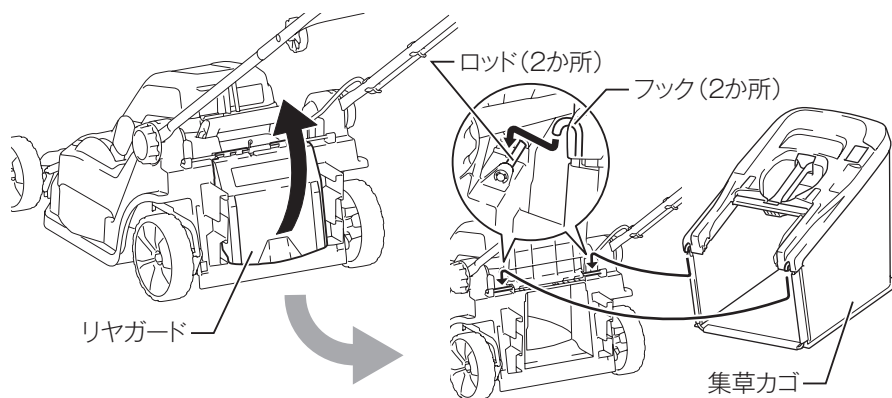
ご使用前の準備

4. ハンドル（上）の向きとコードが図のようになるようにホルダを組み付けてください。



集草カゴの取り付け方

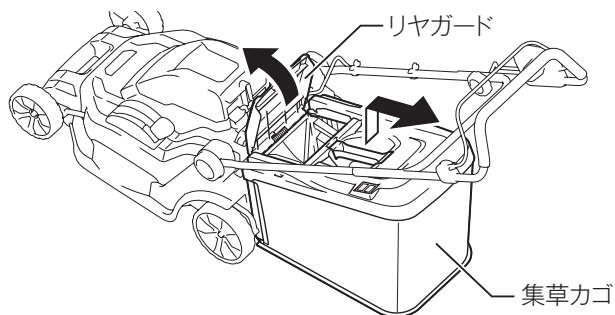
1. バッテリまたはキーをはずします。
2. 本製品のリヤガードを持ち上げたまま、集草カゴのフック（2か所）を本製品のロッド（2か所）に引っかけて取り付けます。



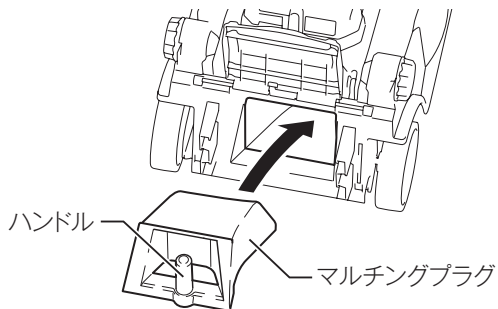
ご使用前の準備

マルチングプラグ（別販売品）の取り付け方

1. 本製品のリヤガードを持ち上げ、本製品から集草カゴを取りはずします。



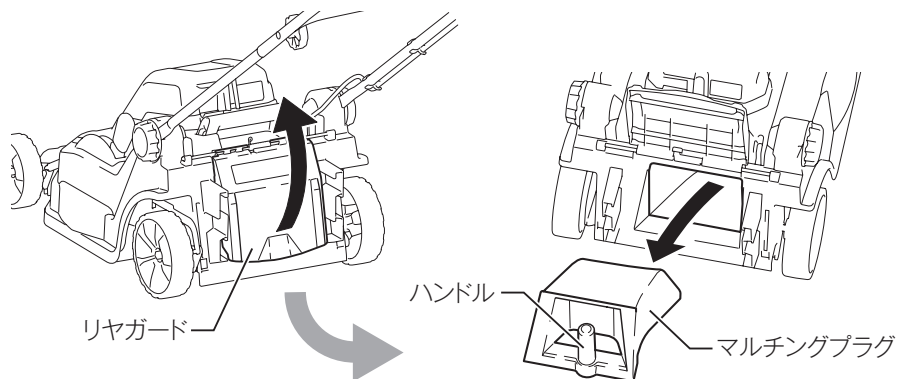
2. マルチングプラグのハンドルを持って、マルチングプラグを本製品に取り付けます。



ご使用前の準備

マルチングプラグ（別販売品）の取りはずし方

1. 本製品のリヤガードを持ち上げたまま、マルチングプラグのハンドルを持って、本製品から取りはずします。



ご使用前の準備

バッテリーとキーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。バッテリーを差し込んだ際に“カチッ”と音がしていない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

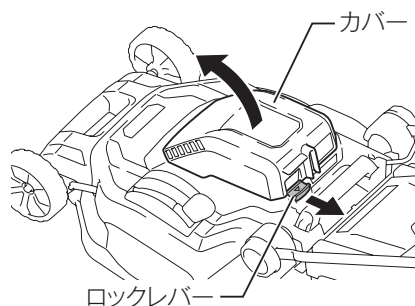
⚠ 注意

カバーを取りはずした状態で使用しないでください。

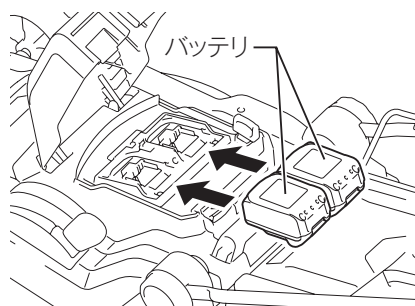
- ・ ほこりや水などが入り、本製品およびバッテリーが故障する恐れがあります。

■ 取り付け方

1. ロックレバーを引き、カバーを持ち上げます。



2. バッテリーを図のような向きでカチッと音がするまで差し込みます。

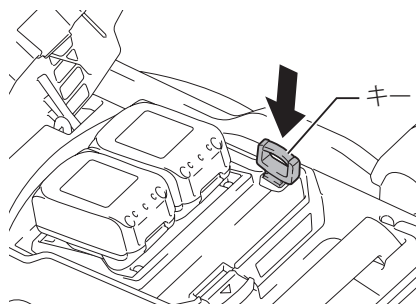


注

- ・ 必ず充電済みのバッテリー 2 本を取り付けてください。バッテリーが 1 本の場合や、バッテリー 2 本のうち片方が充電されていない場合はスイッチが入りません。

ご使用前の準備

3. キーを図の位置の奥まで差し込みます。

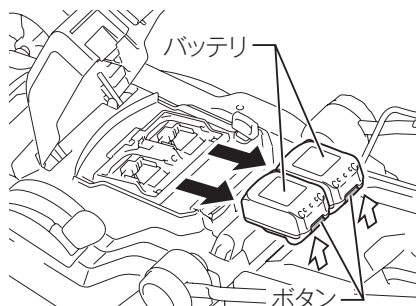


4. カバーを閉じます。ロックレバーのロックがかかるまでカバーを押ししてください。

■ 取りはずし方

1. ロックレバーを引き、カバーを持ち上げます。

2. バッテリーのボタンを押しながら、図のような向きでバッテリーを抜きます。



3. キーをはずします。
 - ・はずしたキーは子供の手の届かない所に保管してください。
4. カバーを閉じます。

刈り込み高さの調整

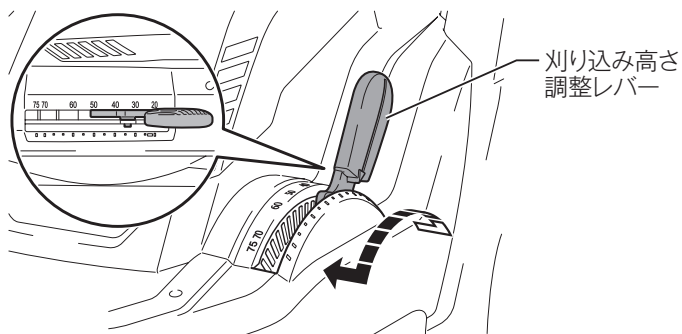
⚠ 注意

刈り込み高さを調整する場合は本製品の下に手や足を入れないように注意してください。

芝刈刃が傷つくのを防ぐため、作業時以外は刈り込み高さ調整レバーを“40”以上に合わせてください。

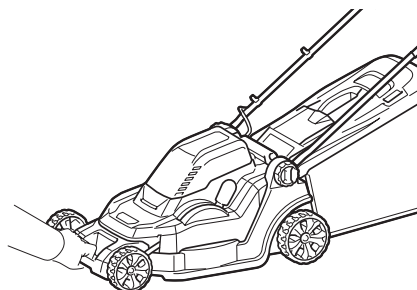
- ・ 刈り込み高さ調整レバーで刈り込み高さを調整します。刈り込み高さは20～75 mmの高さに調整することができます。

1. バッテリまたはキーをはずします。
2. 刈り込み高さ調整レバーを本製品の外側に引っ張ります。その状態で設定する数値に矢印が合うようにレバーを動かして本製品の内側に押し込みロックします。
 - ・ 数値は芝生の長さの目安です。目立たない場所で試し刈りをし、好みの高さに調整してください。



注

- ・ 刈り込み高さを調整する場合は、図のように手で押さえるなど本製品が動かないようにして操作してください。



使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

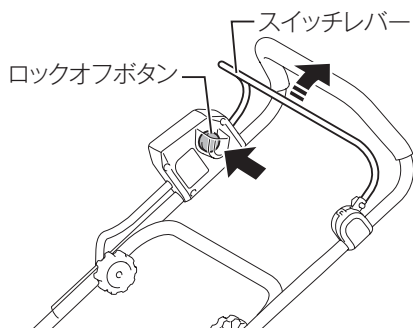
本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

⚠ 注意

ロックオフボタンを押さずにスイッチレバーを引いても始動しません。キーを取り付けないと始動しません。

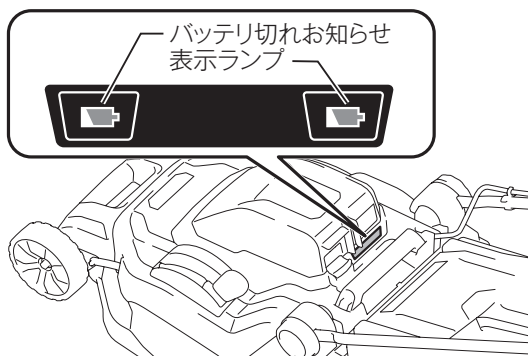
- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。
- ・ スイッチレバーを放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



各種機能

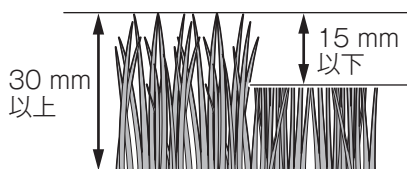
■ バッテリ切れお知らせ表示ランプ

- ・ バッテリの残量が少なくなると、バッテリー切れお知らせ表示ランプが点滅します。さらに使用すると、本製品は自動停止し、バッテリー切れお知らせ表示ランプが約 10 秒間点灯します。バッテリー切れお知らせ表示ランプが点灯した場合は、バッテリーをはずして充電してください。



マルチングプラグの使い方（別販売品）

- ・ マルチングプラグを使うと、刈った芝を集草カゴに集めずに、そのまま地面に捨てることができます。マルチングプラグを使う時は、必ず集草カゴを取りはずしてください。



注

- ・ 芝が 30 mm 以上伸びた状態、かつ、刈り込み量を 15 mm 以下にしてマルチングプラグを使用してください。

使い方

刈り込み方法

⚠ 警告

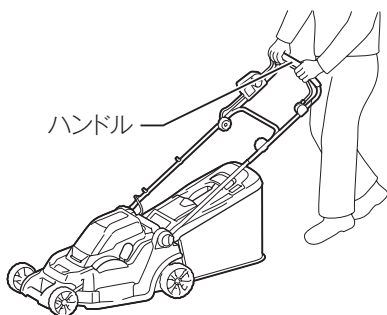
あらかじめ小石、棒切れなどを取り除いてください。また、雑草も事前に取り除いてください。



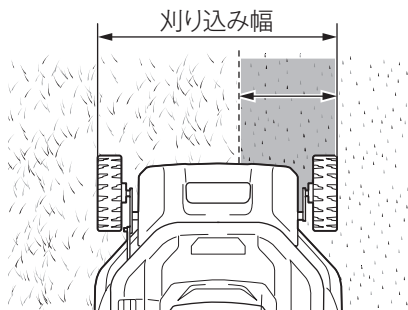
⚠ 注意

一度にたくさんの芝を刈ろうとすると負荷が大きくモーターが始動しないときがあります。そのときは刈り込み高さを高くして再度始動させてください。

- ・ ハンドルを両手でしっかり持って作業してください。
- ・ 刈り込みの速さは1 mを2秒ぐらいで動かすのが目安です。

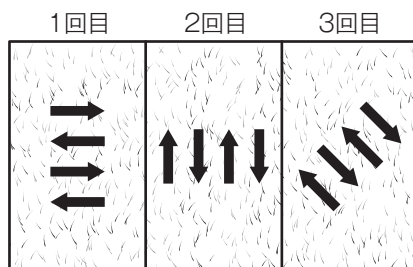


- ・ 本製品の前輪外側の幅が刈り込み幅の目安です。一度刈った部分を少し重ねて刈ると、ムラなく刈ることができます。



使い方

- ・ 刈り込みの方向を変えて刈ると、芝目が一定方向になるのを防ぐことができます。右図のように毎回方向を変えて刈り込みを行うときれいになります。
- ・ 定期的に集草カゴ内の刈った芝のたまり具合を確認して、いっぱいになる前に捨ててください。

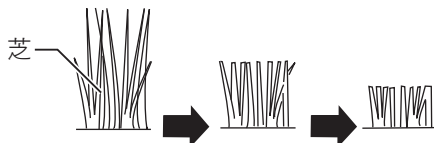


注

- ・ 集草カゴ内がいっぱいそのまま作業すると芝刈刃がスムーズに回転しなくなりモータに負担がかかり、故障の原因になります。

長い芝の刈り方

- ・ 長い芝は一度に短く刈らず日をあけて徐々に刈り込み高さを低くして短く刈りそろえてください。



注

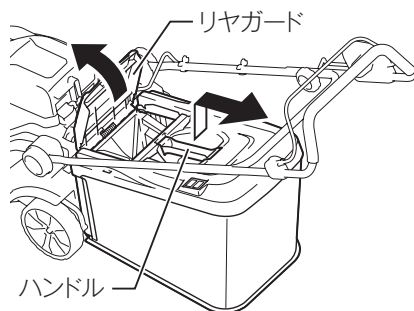
- ・ 長い芝をいきなり低い刈り込み高さで刈ると、芝が枯れたり本製品内に芝がつまることがあります。

使い方

芝の捨て方

- ・ バッテリーまたはキーをはずします。
- ・ リヤガードを開き、集草カゴのハンドルを持って取りはずします。
- ・ 集草カゴの中の芝を空にします。

集草レベル蓋：作業中は集草カゴを通った風が抜けていくために蓋が開閉を繰り返します。集草カゴがいっぱいになると蓋が閉じたままになるので、作業を中断して芝を捨ててください。



注

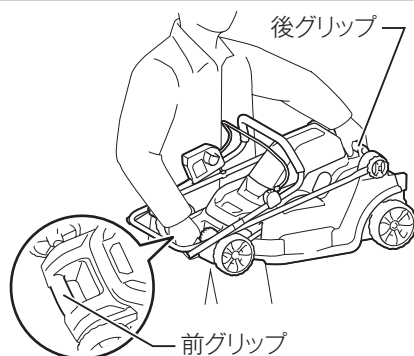
- ・ 集草カゴが劣化して穴が開くなど、傷んでいる場合には、新しい集草カゴに交換してください。
- ・ 集草レベル蓋は目安です。刈る芝の状態などによっては正しく動作しない場合があります。

運搬について

⚠ 警告

運搬時はバッテリーまたはキーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動し、けがの原因になります。
- ・ 持ち運びは、図のように前グリップと後ろグリップを持って運んでください。



使い方

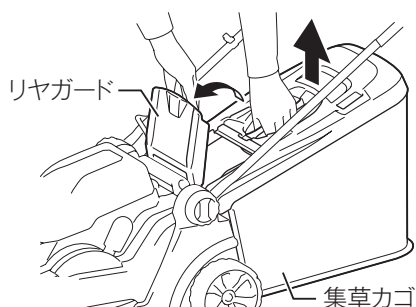
保管方法

⚠ 警告

保管時はバッテリーまたはキーを抜いてください。

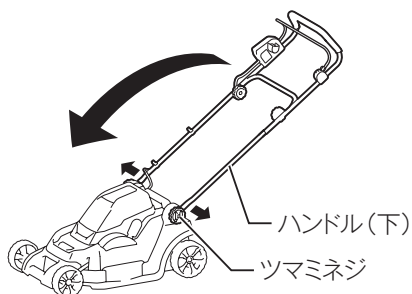
- ・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

- 1.** リヤガードを持ち上げ、集草カゴを取りはずします。



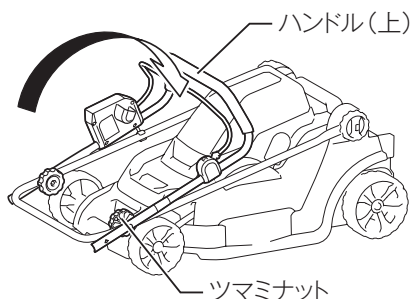
- 2.** ツマミネジ (2 か所) をゆるめ、ハンドル (下) を両側に広げながらハンドル全体を矢印方向に倒します。

- ・ この際、ハンドルが本製品と反対側に倒れないようにしっかり保持してください。



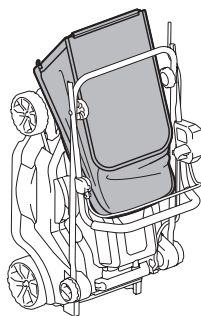
- 3.** ツマミネジ (2 か所) を軽く締め付け固定します。

- 4.** ツマミナット (2 か所) をゆるめて、ハンドル (上) を矢印方向に起こし、ツマミナットを軽く締め付け固定します。



保管例

- ・ 本製品を図のように立てて保管することもできます。



⚠ 警告

点検・整備・芝刈刃の交換の際には、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

必ず芝刈刃が止まっていることを確認してから行ってください。

- ・ けがの恐れがあります。

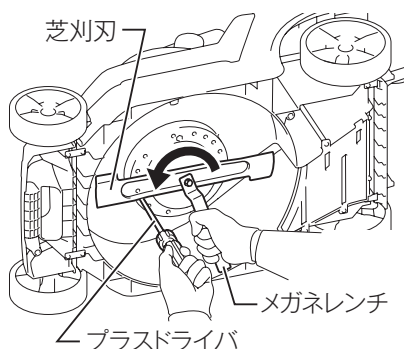
点検・整備・芝刈刃の交換の際には、手袋を着用してください。

- ・ けがの恐れがあります。

芝刈刃の取りはずし方

■ MLM382D

1. 芝刈機を刈り込み高さ調整レバーが上になるように倒します。
2. 本製品のデッキに図のようにプラスチックドライバなどを差し込み、芝刈刃を固定します。
3. 付属のレンチを使用してボルトを左に回してゆるめます。
4. ボルト、芝刈刃の順に取りはずします。



■ MLM432D

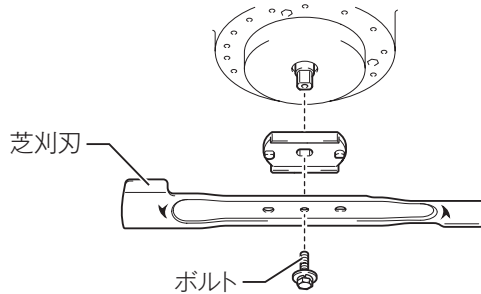
1. 芝刈機を刈り込み高さ調整レバーが上になるように倒します。
2. 本製品のデッキに図のようにプラスチックドライバなどを差し込み、芝刈刃を固定します。
3. 付属のレンチを使用してボルトを左に回してゆるめます。
4. ボルト、アウトフランジ、芝刈刃、インナフランジの順に取りはずします。



芝刈刃の取り付け方

■ MLM382D

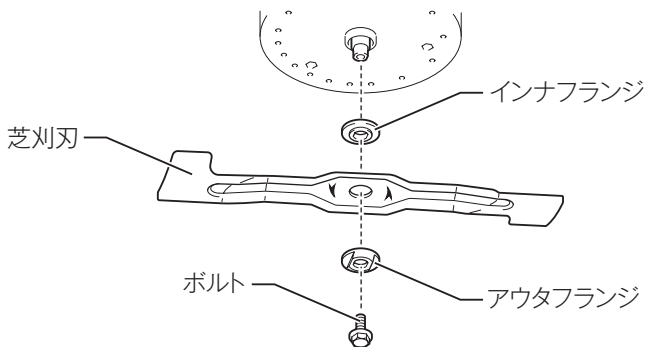
- ・ 芝刈刃の取り付けは、芝刈刃の取りはずし方と逆の手順で組み付けます。
- ・ 向きに注意して、芝刈刃、ボルトの順に組み付けます。



- ・ 芝刈刃は回転方向のマークがある向きを表にして組み付けてください。

■ MLM432D

- ・ 芝刈刃の取り付けは、芝刈刃の取りはずし方と逆の手順で組み付けます。
- ・ 向きに注意して、インナフランジ、芝刈刃、アウトフランジ、ボルトの順に組み付けます。



- ・ 芝刈刃は回転方向のマークがある向きを表にして組み付けてください。

困ったときは

■ 故障かな？と思ったら

・ 修理を依頼する前に下記項目を点検してください。

症状	原因	対処
始動しない	バッテリーが入っていない	充電されたバッテリーを2個差し込んでください。
	キーが入っていない	キーを差し込んでください。
	バッテリーの故障	バッテリーを充電してください。充電できなければ交換してください。
少し使用すると止まってしまう	バッテリー残容量が少ない	バッテリーを充電してください。充電できなければ交換してください。
	刈り込み高さ設定が低い	刈り込み高さを高くしてください。
回転が低い	バッテリーがしっかり挿入されていない	取扱説明書に従ってバッテリーを正しく挿入してください。
	バッテリー残容量が少ない	バッテリーを充電してください。充電できなければ交換してください。
	回転伝達部の故障	修理をお申し付けください。
芝刈刃が回転しない	枝などの異物が芝刈刃に絡まっている	異物を取り除いてください。
	回転伝達部の故障	修理をお申し付けください。
異常な振動	芝刈刃が割れたり、欠けている	新品の芝刈刃に交換してください。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注	<ul style="list-style-type: none">・ 水洗いは絶対にしないでください。・ 本機内部に水が入り、故障の原因になります。・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
----------	---

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

主要機能

モデル	MLM382D	MLM432D
電動機	直流マグネットモータ	
バッテリー	リチウムイオンバッテリー	
	バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)	
電圧	直流 36 V (18 V × 2)	
回転数	3,700 min ⁻¹ (回転 / 分)	3,600 min ⁻¹ (回転 / 分)
刈り込み高さ	20 ~ 75 mm (13 段階調整)	
刈り込み幅	380 mm	430 mm
本製品寸法	長さ 1,380-1,410 mm × 幅 450 mm × 高さ 985-1,005 mm (ハンドルを伸ばした状態) 長さ 860 mm × 幅 450 mm × 高さ 475 mm (収納した状態)	長さ 1,435-1,490 mm × 幅 460 mm × 高さ 1,005-1,045 mm (ハンドルを伸ばした状態) 長さ 865 mm × 幅 460 mm × 高さ 475 mm (収納した状態)
質量	16.5 kg (バッテリー含む)	17.1 kg (バッテリー含む)

充電器	DC18RD	
入力電圧	単相交流 100 V	
入力周波数	50-60 Hz	
入力容量	690 VA	
バッテリー 充電端子	出力電圧	直流 7.2-18 V
	出力電流	直流 9 A × 2
USB 電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 1.5 A
	端子形状	USB A 型

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ バッテリアダプタ類について

- 本製品はバッテリアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881E40A5

IWT